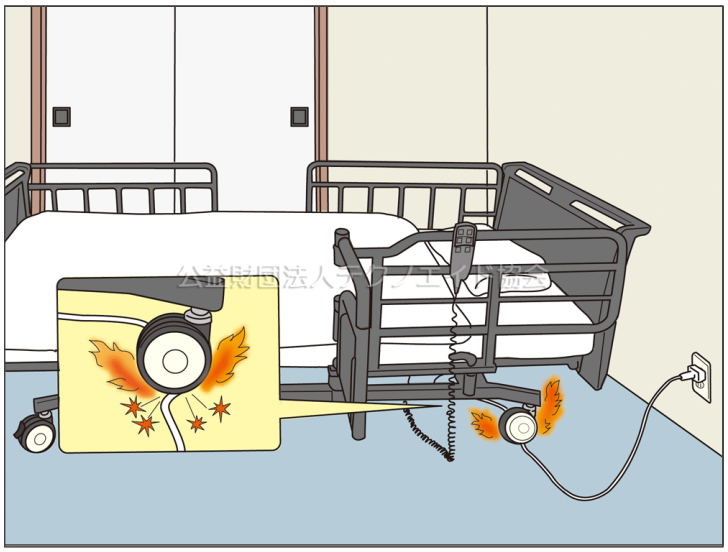
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：367

ベッドのキャスターが電源コードを踏みつけていることに気が付かず、火災になりそうになる

場面の説明

掃除のためにベッドを動かした際、電源コードを踏みつけていることに気が付かず、そのまま放置してしまった



利用シーン	その他
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

電源コードへの圧迫や無理な力は、電気の流れを妨げ火災の原因となります。掃除などでベッドを移動するときは、電源コードの踏みつけに注意します。ベッド移動が頻繁に行われる場合には、コンセントの位置やコードの取り回しなどにも工夫が必要です。コードの変形や傷を確認した時には、いったん使用を中断し、メーカーや納品した事業者に連絡しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：コードを踏みつけていることの危険性を理解していなった
モノ：コードをガードするモールなどが設置されていなかった
環境：コンセントが近くになかった
管理：ベッドを移動する際に、コードを踏みつけていないかどうかの確認をする指示がなされていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.